

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	指定再資源化製品に係る制度の円滑な運用等を図るために、国が調査・検討等を行うものである。 ※執行においては家電リサイクル推進事業費(事業番号097)と統合して実施しており、執行額及び執行率は2事業の合計した数値である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争により、競争性を確保している。 また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	指定再資源化製品に係る制度の円滑な運用等を図る上で、不可欠な事業である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業者との間で電話や電子メール等で連絡するとともに定期的に当省担当者との打合せを行い、常に事業の進捗状況を確認している。今後、指定再資源化製品に係る制度の現状の変化に応じて、事業内容の重点化を図るとともに、引き続き競争性を確保し、事業の効率化に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	他事業と調査・検討に係る重複部分を整理し、事業内容を重点化することなどにより予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	「使用済小型電気電子機器リサイクル推進事業費」との重複部分を排除することで概算要求額を減額。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	108	平成23年行政事業レビュー	099

※平成23年度実績を記入

(再掲)事業番号098と統合して執行

環境省
22百万円



【企画競争】

A. (株)三菱総合
研究所
22百万円

家電リサイクル等推
進業務(パソコン)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)三菱総合研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		22	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	家電リサイクル等推進業務	22	企画競争	—

(別紙)

事業番号 098

事業名 資源の有効利用促進に係る適正化事業費

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (各年度)
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(デスクトップパソコン)	成果実績	%	76.9	76.1	調査中	50
	達成度	%	154	152		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(ノートブックパソコン)	成果実績	%	56.8	55.6	調査中	20
	達成度	%	284	278		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(ブラウン管式表示装置)	成果実績	%	74.3	74.8	調査中	55
	達成度	%	135	136		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(液晶式表示装置)	成果実績	%	69.4	69.8	調査中	55
	達成度	%	126	127		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(ニカド電池)	成果実績	%	73.6	73.2	調査中	60
	達成度	%	123	122		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(ニッケル水素電池)	成果実績	%	76.6	76.6	調査中	55
	達成度	%	139	139		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(リチウムイオン電池)	成果実績	%	72.5	73.5	調査中	30
	達成度	%	242	245		
資源有効利用促進法におけるパソコン及び小形二次電池の自主回収・再資源化率(小形制御弁式鉛蓄電池)	成果実績	%	50	50	調査中	50
	達成度	%	100	100		

成果目標及び
成果実績
(アウトカム)